

中部部長主題：長所を活かして生き生きと！

円滑なコミュニケーションをもって奉仕活動に励み、  
事業の質的向上を会員増強につなげよう

## 2013-2014 中部部長通信 No. 5 (2013年11月30日)

中部部長 平口 哲夫 (金沢犀川クラブ)

今号では、上半期に行われた中部部長公式訪問例会について述べます。上半期各クラブの活動状況については、次号に回すことにいたします。

### 1. 上半期の部長公式訪問

【名古屋東海クラブ】日時：9月12日(木)18:45~20:45、会場：ラ・スース ANN、卓話：名古屋 YMCA 総主事・中村隆氏「Next stage Nagoya YMCA」。

金沢犀川クラブの澤瀬諭会長が運転する車で15:00に自宅を出発、北陸・東海高速道と名神高速道を経由し、約3時間で会場に到着。私は、今年1月11日(金)に名古屋東海クラブ1月第一例会において「世界連邦運動と YMCA・ワイズメンズクラブ」と題して卓話をさせていただいたので、同クラブの例会に参加するのは、これで2回目です。

名古屋市中区丸の内にあるラ・スース ANN は、アットホームな結婚式をキャッチフレーズ

にしているだけに、雰囲気が明るく華やかです。会場の前に長谷川和宏ワイズがタイミングよく待っていてくださったので、迷うことなく駐車することができました。長浜クラブの伊藤文訓会長・伊藤照代メネットも参加しておられました。「ここ数年なかった全員出席の例会になった」(名古屋東海クラブのブリテン10月号)とのことです。



部長挨拶では、第17回中部部会について概要を報告し、多数ご参加いただいたことに感謝するとともに、今後の活動へのご協力をお願いしました。上品なフレンチ料理の会食後、中村隆氏による卓話を伺って、時代の要請に即した幼児教育を中心とする意欲的な新企画と、七転び八起きの精神で取り組んでいる姿勢に感銘を受けました。卓話後、山村喜久会長からミニバーナーを頂戴しました。



21:00 頃に帰路につき、0:00 過ぎに帰宅。澤瀬会長は、ご自宅が白山市千代野にありますので、さらに帰宅が遅くなりました。お疲れさまです。

**【名古屋プラザクラブ・名古屋南山クラブ合同】**日時：10月10日(木)18:45～20:45、会場：名古屋 YMCA 会議室、卓話：中部部長「東アジアにおける捕鯨の起源」。

例のごとく金沢犀川クラブの澤瀬論会長が運転する車に北肇夫中部書記と私が同乗し、14:50 に自宅を出発、18:00 までに会場到着の見込みでしたが、名神高速道の出口付近で渋滞に巻き込まれ、かろうじて開会 5 分前に到着。参加者数は、金沢犀川クラブからの参加者 3 名を除けば 16 名。7 月 1 日現在、名古屋プラザクラブの会員数は 9 名、名古屋南山クラブの会員数は 11 名ですから、まずまずの参加者数と言えましょう。

支障のないかぎり卓話をさせていただきたいと、厚かましいお願いをしておいたのは、ただ訪問して挨拶するだけでは部長訪問の意義があまりありませんし、かといって、自分の所属クラブが 6 名という少ない会員数で低迷しているのに、EMC を鼓舞するような説教めいた話をする柄でもないの、せめて自分の専門分野や関心のある分野の話をして、些かでもお役に立ちたかったからです。実は、名古屋南山クラブの小林滋記会長が 2005-2006 中部部長のときに金沢犀川・金沢浅の川・富山クラブ合同の部長公式訪問例会でなされた卓話が、ご自営の金物店に関連した「刃物の話」でした。私はこの卓話を興味深く拝聴しました。また、西日本区 2000 チームが 2008 年に作成した「DVD で学ぶ例会のもち方」で例として紹介された京都パレスクラブ第一例会の卓話が京都大学大学院理学研究科の片山一道教授による「ポリネシア人：南太平洋のアジア人」でした。そこで、私が部長公式訪問するときも、この手



でいこうと思った次第です。なお、日本人類学会の大会で片山教授と雑談を交わしたとき、私と同じ 1945 年生まれなので当時のことを伺ったら、「広島生まれで、胎内被曝だよ」と仰っていました。



左上の写真は、開会の挨拶をする名古屋プラザクラブの島崎正剛会長(向って左)と名古屋南山クラブの小林会長、左下の写真は卓話を聴く参加者を撮ったもの。卓話「東アジアにおける捕鯨の起源」は、パワーポイントによるスライドを用いながら行いましたが、質疑応答も含めて 40 分程度ということでしたので、だいぶ話を端折ったところ、早く終わりすぎ、もっと話を聴きたかったという声がいくつかありました。しかし、このあと有志による二次会が予定されているので、金沢に日帰りする立場からすれば早めに終わるほうが好都合でした。「堅そうな話題なので居眠りするかと思っていたけれど、意外と面白かった」とか「地元の話もしてほしかった」というコメントがありました。

二次会で酒を飲みながら四方山話に花が咲きました。いろいろお世話くださった名古屋プラザクラブの島崎正剛会長、歓待してくださった皆様、ウーロン茶で我慢しながら二次会まで付き合ってくださいました澤瀬会長に感謝申し上げます。帰途についたのは 23:00 過ぎ、拙宅到着は 2:00 頃となりました。

【津クラブ】日時：11月21日(木)18:30～20:30、会場：アスト津。卓話：中部部長「韓国盤亀台岩刻画と徐福捕鯨伝説」。

自家用車で自宅を12:00に出発、途中で三谷信三ワイズと北肇夫中部書記を乗せ、澤瀬論会長宅にて澤瀬会長の車に乗り移り、4名で会場に向かいました。北陸高速道から名神高速道に入り、関ヶ原ICで高速道を出て関ヶ原IC～四日市IC間は一般国道を走行、四日市ICで東名阪道に乗り継ぎ、伊勢道・津ICで高速道を出て、JR津駅前の会場「アスト津」に近いホテル「ドゥーミン津」に18:00前に到着。



例会には、金沢犀川クラブからの参加者4名のほか、YMCAの若いリーダー2名を含む10名が参加。卓話は、名古屋プラザクラブ・名古屋南山クラブ合同の部長公式訪問例会で端折った箇所に地元の話を加えて構成。例会後、会場近くの飲み屋で有志による二次会が開催されました。卓話についての質問は、例会のときには出なかったのですが、二次会の場では歴史好きの参加者からいろいろ関連の話が出ました。また、同席の北中部書記は、クラブの規模が金沢犀川クラブと同じでありながら、津クラブではワイズポテトの今年度販売実績が約170箱、クラブファン用の収益が5万円近くだったということに感心していました。



例会翌日の帰路、東名阪道・四日市ICから国道477号の途中、鈴鹿山脈の最高峰・御在所岳(海拔1,212m)にロープウェイで登頂、山腹の紅葉を楽しみました。その後、国道477号(旧・鈴鹿スカイライン)を經由し、滋賀県の名刹・永源寺へ立ち寄りしました。夕暮れ時でしたので、照明前と照明後の両方の紅葉を楽しむことができました(左の写真)。午前中、東名阪道での交通渋滞で予定より2時間遅れましたが、20:00頃に無事帰宅。千賀直道会長・薦田正男書記をはじめとする津クラブの皆様、長時間にわたり運転をしてくださった澤瀬会長に感謝申し上げます。